

## タイからスキー、スノーボードの初合宿

昨年12月22日、タイ王国から6歳から17歳までのスキー、スノーボード競技育成候補の小、中、高校生とタイスキースノーボード連盟のプームチャイ・ウィチェンシン副会長ら役員5人合わせて36人が来町し、同月30日までキトウシキャンモアスキービレッジで短期合宿を行いました。



町とタイ王国スキースノーボード連盟(ピヤサワット・アマラン会長)との間で交わした冬季スポーツのスキー、スノーボード競技でアスリート選手を育成するための国際連携(昨年7月)に基づき、来町した初の合宿キャンプ。

「S S A T ブート・キャンプ」と名付けた初回合宿は、8泊9日間。メンバーにとつて初めての雪の光景という生徒がほとんど。旭川空港に到着すると「寒い、寒い」を連発しながら大興奮。

南国・タイでは冬季スポーツに接する機会がないため参加26人のうち、スノーボード経験者3人を除いて冬のス

## 宇宙クラブでロケットをつくった

昨年12月9日、文化芸術交流センターで東川宇宙クラブ(本間寛太代表)の実験教室が開かれました。

宇宙にあこがれる小学生約40人が集まりました。先生は昨年1月に引き続き来町したJAXA(東京都調布市、宇宙航空研究開発機構)の宇宙教育リーダー、和田直樹さん。



ロケットとしても活躍している全長約20メートルの固体燃料・イプシロンロケット(約16センチ約30センチまで9タイプあり)を作るといふもの。ビニールテープを床に貼って実際のロケットと同じ大きさで外殻作りに挑戦しました。

JAXAのオレンジ色作業スーツ姿で現れた和田さんが「今日は宇宙に関する実験をします。みんなでロケットをつくらう」と切り出すと、「えっ、どうやって?」とみんな興味津々。日本の主力・H2Aロケットの補助

道立旭川西高校のスーパサイエンスハイスクール(理数科)に通う生徒6人がボランティアでお手伝い。一緒に会場いっぱいロケットを2基つくり上げました。みんなその大きさにびっくり。

## めだかのクリスマスパーティー

昨年12月9日、町教委は農村環境改善センターで小学生のための放課後英語教室、めだかのクラブのクリスマスパーティーを開きました。

5歳児から小学6年生まで約100人のお友だちが来場しました。クリスマス恒例のアニメーション映画や楽しいゲームがいっぱい。プレゼントを抱えて赤い服のサンタクロースもやって

きてくれました。

大きな靴下に小さなスコップでボールを入れるゲーム「いっぱい靴下」、プレゼントを正しい場所に入れてカレンダーを完成させる「12日のクリスマス」、小さな箱を積み上げて「プレゼントタワーをつくらう」など、一足早いクリスマス



スマスを楽しんでサンタさんからのプレゼントも。町のALT(外国語指導助手)5人に加えて、旭川東神楽町からもALTの皆さんがスタッフとして参加。町の国際交流員、スポーツ国際交流員、東川中学校と東川高校の生徒もこの日のパーティーにお手伝いに来てくれました。